

「南信州（飯田下伊那）地域の商業」

○年間商品販売額（平成 19 年長野県情報統計課「商業統計」）

飯伊地域商業の年間商品販売額は、

飯田市	2,558 億円
下伊那郡	713 億円
飯伊合計	3,272 億円

このうち、

小売業の年間商品販売額

飯田市	1,347 億円
下伊那郡	467 億円
飯伊合計	1,815 億円

卸売業の年間商品販売額

飯田市	1,210 億円
下伊那郡	246 億円
飯伊合計	1,457 億円

当地域における小売業、卸売業を合わせた年間商品販売額の、長野県全体の年間商品販売額に占める割合は 5.6% となっており、当地域の人口が長野県全体に占める割合の 7.9%（平成 22 年国勢調査）と比較して低いものとなっており、人口規模と比較して商品販売額の規模は小さいといえる。

○販売形態別小売販売額構成比

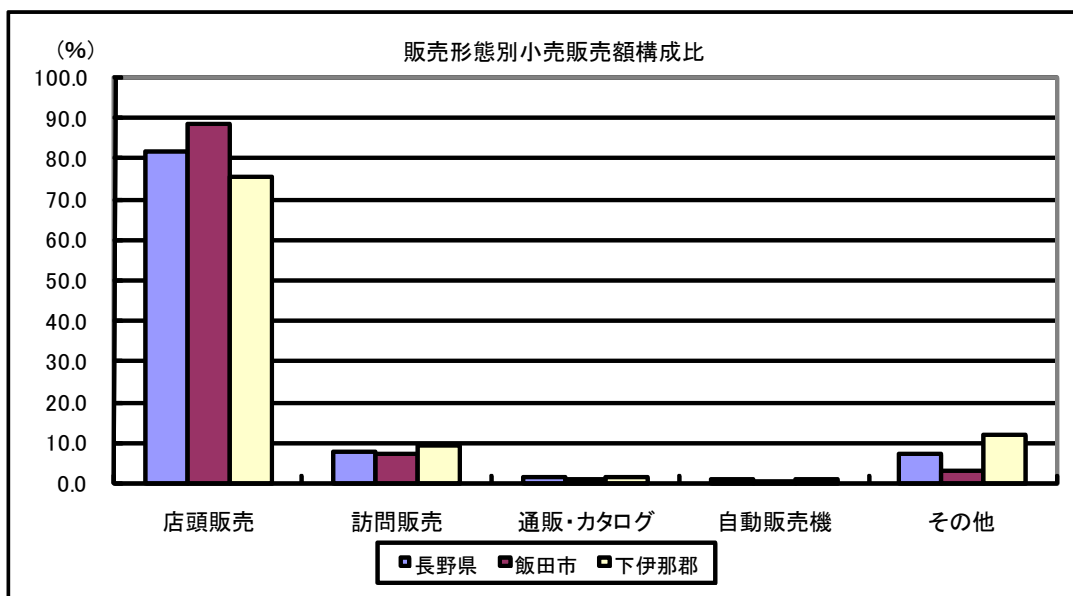
同調査による、飯田市と下伊那郡の販売形態別の小売販売額構成比は、飯田市においては、長野県平均に比較して、「店頭販売」の構成比が高く、一方、下伊那郡においては、「訪問販売」「その他」「自動販売機」の構成比が高い。

こうした点からも、店舗販売における地域内購買力の飯田市（特に郊外幹線道路沿い商業集積）への流出、周辺町村部における店頭販売以外の販売への活路開拓の動きが見て取れる。

販売形態別小売販売額構成比

（単位：％）

	店頭販売	訪問販売	通販・カタログ	自動販売機	その他
長野県	82.0	7.8	1.8	0.9	7.5
飯田市	88.4	7.2	1.0	0.6	2.9
下伊那郡	75.5	9.2	1.8	1.2	12.2



○飯伊地域の商圈構造

・飯伊地域の商圈耕造の特徴・・・閉鎖的商圈

長野県商圈調査によれば、市町村別の地元滞留率（居住する地元市町村内で主に買い物をする世帯の割合）は、飯田市が **95%**前後ときわめて高いが、下伊那郡の各町村においては、特定の町村を除いて、年々減少が続いており、地元購買力が他地域（主として「飯田市」）に流出している。

ただし、その流出先は飯田市がほとんどを占めており、飯伊地域以外への流出は少ない。当地域の商圈構造は、他地域からの吸引、他地域への流出がともに少ない、自己完結型の閉鎖的な商圈構造といえる。

